



米沢有為会米沢支部総会は、6月23日（土）午後1時から伝国の杜 研修室に於いて本部総会に先立ち開催され、中川勝支部長をはじめ約25名の会員が出席しました。議事では支部の平成29年度庶務報告、決算報告を承認。平成30年度の事業計画（案）と予算（案）も原案通り可決されました。次に、理事の辞任に伴う補充（案）について審議、承認されました。終了後の本部総会に引き続き表彰式が行われ、1法人に産業功労賞、13個人に特別表彰が贈られました。（詳細は次のページに）

第 37 号

平成30年 8月25日

発行者

(公社)米沢有為会米沢支部

支部長 中川 勝

米沢市金池5-2-25

☎ 0238-22-5111

米沢有為会の米沢支部の皆様に残暑お見舞い申し上げます。
私は1982年、恩師東北大学医学部脳神経外科鈴木二郎教授の命により米沢市立病院第2代脳神経外科長として赴任しました。雪国での生活に多少不安がりましたが、四季折々の自然の美しさや上杉米沢藩の義と愛の文化、伊達政宗など英傑を育んだ風土に魅せられて定住し38年目を迎えました。それも病院同僚に案内されて体験した山菜採りや秘湯の宿、町内会で楽しんだいも煮会や海水浴など、地域の方々に温かく迎えていただいたお陰と感謝しています。
私の故郷は茨城県石岡市で奈良・平安時代には常陸の国の国府が置かれ、私が学んだ石岡小学校にその遺跡があります。当時は国分寺、国分尼寺も建立され栄えていましたが、中世以降は常陸の国の中心地は他に移り、今は田園都市となっています。
さて、私は1995年から3期18年間、参議院議員として活動しましたが、米沢有為会東京支部の会合に出席した折、米沢市民としてのご縁も深まっていたことから同会員となりました。米沢有為会の皆様は「有為な人材を育てる」との会発足の趣旨を体現し、東京に進学した興譲館寮生を温かく励ましておられ、感銘を受けました。2013年に参議院議員を引退し米沢に戻りましたが、当時の病院事業管理者の推薦と市長の任命により、同年10月に病院長として米沢市立病院に復帰しました。
昨年10月、東京支部恒例の小石川後楽園・涵徳亭での園遊会に出席しましたが、そこには寮生も参加していました。その時「明年（2018年）米沢市立病院は開設60周年の佳節を迎え、病院建替も5年後に迫っている。米沢、置賜地域は少子高齢化・人口減少が一段と進み、地域医療・介護を担う人材の確保は喫緊の課題であり、米沢有為会の皆様にもご支援頂きたいので、機関誌にその旨の投稿をお願いできないだろうか？」と考え、早速、有為会の役員の方にお願ひしてみたところ快諾を得、今回の投稿となりました。
現在、米沢市立病院は三友堂病院と医療機能分化・連携を図り、2023年に両院の建替え開院を目指しています。一方、米沢市は「健康長寿日本一」を目指しており、米沢有為会の皆様には当地で活躍いただける医療・保健・福祉分野の人材育成・確保のためご支援を賜れば幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

米沢市病院
事業管理者渡邊 孝男
わたなべ たかお

米沢で活躍いただける医療・保健・福祉
分野の人材育成・確保にご支援を！

1団体、13個人を表彰

定時総会に引き続き、表彰式が行われました。昨年度の総会で表彰規則が改正され、本部表彰と支部表彰の区分が廃止・一本化されました。この改正を受けて、今回は次のとおり1団体と13個人が表彰されました。

(以下、学校・学年は平成29年のものです。)

産業功労者

▼株式会社 青葉堂印刷

昭和32年、米沢市駅前にカレンダー・うちわ・広告マツチ等の販売目的に創業する。昭和45年頃より印刷設備を導入する。その後、設備の増強と移転を繰り返し、平成19年3月、米沢市オフィスアルカディアに移転する。

その間、昭和50年に株式会社を設立、4色印刷機や製版機械を毎年増強し、平成12年にカレンダーのタンザック製本を開始。平成16年ISO9000の認証を取得し、その後各種認証を取得。平成17年東京営業所を開設し、首都圏の営業も開始する。平成24年環境負荷や経営革新などが認められ、第11回印刷産業環境優良工場表彰において経済産業省商務情報政策局長賞を受賞する。現在も、高付加価値化・省力化機器や検査機器の導入、及び社員教育に力を注ぎ、DTPエキスパートの有資格者も30名を超す。

特に、現在地の工場に移転してからは、カレンダーの一貫製造システムを構築して付加価値を高めた。平成28年には、当地としては画期的なIoT対応の4/6全判UV4色印刷機を導入し競争力を高めた。

現在のカレンダー製造能力は日産10万冊、年間2000万冊に上る。その他、ポスター・カタログ・パンフレット・機関紙など商業印刷にも実績を残す。デジタル化が進み、紙媒体が縮小する中、経営革新と最新設備の更新を図っている。

特別表彰 スポーツ活動

〈優秀賞〉

▼紺野 愛翔さん

(米沢市立第一中学校1年)

IBKO第9回オープントーナメント全日本空手道選手権大会型団体戦 中学生の部 優勝

▼紺野 北斗さん

(米沢市立第一中学校3年)

IBKO第9回オープントーナメント全日本空手道選手権大会方団体戦 中学生の部 優勝

組手中学2・3年男子重量級 準優勝

IBKO第7回オープントーナメント全日本空手道選手権大会組手中学1年男子50kg未満 第3位(1年時)

▼茨木 凛さん

(九里学園高等学校2年)

第11回U18日本陸上競技選手権大会 女子100mハードル 優勝

平成29年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 女子

100mハードル 第3位

▼柴崎 悠斗さん

(米沢中央高等学校3年)

第5回全国高等学校陸上競技選抜大会 男子300m 優勝

▼小林 瑞季さん

(米沢商業高等学校3年)

平成29年度ユース(U18)女子日本代表 オセアニアチャレンジカップ出場 優勝

〈奨励賞〉

▼齋藤 諒平さん

(九里学園高等学校3年)

平成29年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 男子200m 第3位

▼佐藤 和さん

(米沢興譲館高等学校3年)

平成29年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 女子100mハードル 第2位

▼永井 桂太さん

(米沢中央高等学校3年)

第5回全国高等学校陸上競技選抜大会 男子300mハードル 第2位(大会タイ記録)

特別表彰

文化活動

〈優秀賞〉

▼青木 誓己さん

(米沢市立北部小学校5年)

第67回全国小・中学校作文コンクール(読売新聞社主催)

文部科学大臣賞

▼諏訪 悠斗さん

(米沢市立南部小学校5年)

第28回ひろすけ童話 感想文・感想画全国コンクール 感想画特別優秀賞 山形県知事賞

▼宗川 玲奈さん

(米沢商業高等学校1年)

ワールド・オブ・ダンス ワールドファイナルズ 優勝(世界大会) 福島のチーム「ファビュラス・シスターズ」で出場

〈奨励賞〉

▼高橋 楓夏さん

(米沢市立上郷小学校5年)

第29回読書感想画中央コンクール 小学校高学年の部 自由読書部門 優良賞

▼高橋龍之介さん

(南陽市立荻小学校5年)

平成29年度土砂災害防止に関する絵画・作文 優秀賞(国土交通事務次官賞)



平成29年度 決算

自 平成29年 4月1日
至 平成30年 3月31日

〔収入の部〕

項 目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②－①	摘 要
繰越金	1,023,106	1,023,106	0	
会 費	2,250,000	2,172,000	△ 78,000	正会員 @ 7,000× 90人= 630,000 賛助会員（個人）@ 3,000×314人= 942,000 賛助会員（法人）@10,000× 60人= 600,000
諸収入	94	6	△ 88	預金利子
〔収入合計〕	3,273,200	3,195,112	△ 78,088	

〔支出の部〕

項 目	予算額 ①	決算額 ②	比較増減 ②－①	摘 要
1 本部費	1,125,000	1,086,000	△ 39,000	会費納付金 2,172,000 × 1/2
2 事業費	580,000	374,305	△ 205,695	
教育奨励費	220,000	93,111	△ 126,889	特別顕彰表彰状及び記念品代等
産業振興費	40,000	0	△ 40,000	
講演会・交流会費	120,000	115,136	△ 4,864	案内状送料、講師謝礼、会場使用料等
支部だより費	200,000	166,058	△ 33,942	支部だより印刷代、送料
3 管理費	810,000	551,571	△ 258,429	
事務費	180,000	180,000	0	常務理事報酬
会議費	10,000	0	△ 10,000	
総会費	70,000	44,592	△ 25,408	支部総会案内はがき印刷代、郵送料
通信運搬費	200,000	96,430	△ 103,570	本部総会案内・会誌等送料等
印刷費	150,000	117,422	△ 32,578	封筒印刷代等
諸手数料	70,000	50,294	△ 19,706	郵便振替手数料（会費振込分）等
消耗什器備品費	50,000	13,733	△ 36,267	プリンタラベル代等
交通費	30,000	0	△ 30,000	
諸雑費	50,000	49,100	△ 900	商工会議所会費、ラジオCM放送代等
4 予備費	200,000	0	△ 200,000	
5 次期繰越金	558,200	1,183,236	625,036	次年度繰越金
〔支出合計〕	3,273,200	3,195,112	△ 78,088	

平成30年度 予算

自 平成30年 4月1日
至 平成31年 3月31日

〔収入の部〕

項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①－②	摘 要
繰越金	1,183,236	1,023,106	160,130	前年度からの繰越金
会 費	2,172,000	2,250,000	△ 78,000	正会員 @ 7,000× 90人= 630,000 賛助会員（個人）@ 3,000×314人= 942,000 賛助会員（法人）@10,000× 60人= 600,000
諸収入	764	94	670	預金利子等
〔収入合計〕	3,356,000	3,273,200	82,800	

〔支出の部〕

項 目	本年度予算額 ①	前年度予算額 ②	比較増減 ①－②	摘 要
1 本部費	1,142,000	1,125,000	17,000	会費－（事業費＋管理費）
2 事業費	320,000	580,000	△ 260,000	
教育奨励費	0	220,000	△ 220,000	教育功労・特別顕彰表彰状及び記念品等
産業振興費	0	40,000	△ 40,000	産業功労表彰状及び記念品等
講演会・交流会費	120,000	120,000	0	講師謝礼及び案内印刷、郵送料等
支部だより費	200,000	200,000	0	支部だより発行（2回）印刷、送料
3 管理費	710,000	810,000	△ 100,000	
事務費	180,000	180,000	0	常務理事報酬
会議費	10,000	10,000	0	会議室借上料ほか
総会費	20,000	70,000	△ 50,000	総会案内・資料印刷等
通信運搬費	150,000	200,000	△ 50,000	理事会案内・会報・会誌等送料等
印刷費	150,000	150,000	0	案内葉書、封筒印刷等
諸手数料	70,000	70,000	0	郵便振替手数料（会費振込分）等
消耗什器備品費	50,000	50,000	0	各種消耗品代等
交通費	30,000	30,000	0	各支部等交流旅費等
諸雑費	50,000	50,000	0	商工会議所会費、ラジオCM放送代等
4 予備費	400,000	200,000	200,000	
5 次期繰越金	784,000	558,200	225,800	
〔支出合計〕	3,356,000	3,273,200	82,800	

米沢有為会米沢支部だより

米沢有為会を支援します

株式会社天元台
代表取締役

山田 長一

日頃より、米沢有為会の皆様方にはご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

天元台高原は、昭和38年7月、廃鉱になった硫黄鉱山の再開発のため吾妻観光開発(株)が創業し、同年12月にスキー場の営業を開始、途中(株)天元台と改称し全盛期には10億円以上の営業収入をあげておりました。しかし、景気低迷による経営の見通しが不透明なことから平成14年9月、(株)天元台が事業撤退、米沢市に全面譲渡されたことから、新たに運営会社(株)西吾妻ロープウェーを同年10月に設立し平成19年、前会社の名称(株)天元台を継承し現在に至り、本年、天元台として開業以来55年の節目を迎えます。

私は昭和48年、当時の(株)天元台に入社し、平成元年までの全盛期にお世話になりましたが中途で退社し、また、ご縁をいただき平成20年より現会社でお世話になっております。

この天元台高原の魅力は、なんといっても自然がいっぱいあることです。米沢市内より約20km、時間にして30分、この距離感が何とも言えない別天地へいざないます。春は萌黄・若葉の世界へ、夏は清涼、秋は錦織、冬は白銀の世界へと、四季折々の成すさまが気分を爽快にして癒してくれます。私が愛するこの偉大なる自然を大切にしっかりと守っていかなくてはならないと決意をもって覚悟しているところです。さて、地域にお住いの皆様には、い

ろいろな方たちで私ども天元台高原、また、吾妻山との関りが多いのではないかと考えております。毎日仰ぐ勇壮な山並み、春を告げる白馬の騎士、毎日の生活になくはならないテレビ地上デジタル放送や、警察・消防の通信、行政防災、地元FM放送のアンテナ群が天元台にあり中継の要となっておりまます。さらには、吾妻山系を源とする水も米沢市や置賜地域を潤しております。このように衣食住に関りを持ちながら、時にはタケノコ狩り、猛暑時の避暑、紅葉狩り、スキー・ボードなど実益を兼ねたレジャーやスポーツと多種多様の活用方法もございます。



この、地域に密接な関係をもとに、天元台高原が果たす役割をモットーに、米沢有為会へのご支援の幅が広がりますようお願い致します。

株式会社上杉コーポレーション

代表取締役 来次信彦

上杉城史苑は平成4年に上杉神社東側に建てられた観光施設で、米沢の名産品の販売と、お食事の提供を行っております。

上杉城史苑の成り立ちは、米沢市第6次振興計画の中の、上杉神社を中心とする歴史・文化エリア整備計画によ

るもので、観光客を中心に、このエリアに来訪されるお客さまへのサービス機能を実現するべく建設されたものです。また、上杉城史苑という名前は、舞鶴城の二の丸跡に建てられたことから、上杉の城と里、歴史と文化に彩られた町を表現し、常に人と物が集う場所にしたという願いを込め命名したものです。主要コンセプトは、包み込む。地域とお客様、歴史と伝統を優しく包み込み、すべてを内包させた施設としたい、という意味です。



この計画を強く推し進めたのが、米沢有為会のメンバーである当時の米沢市長、故高橋幸翁氏です。以来、数多くの有為会の方々にもご支援をいただいております、有為会のメンバーの厚さを感じさせられます。改めて感謝申し上げます。

さて、上杉城史苑は、米沢にお越しのお客様が立ち寄る最初の場所であり米沢の玄関口でもあります。この施設の印象がそのまま米沢に対する印象となると考えておりますので、笑顔とおもてなしの心をもった、ワンランク上の品質の提供・ワンランク上の接客を目指し営業してまいりました。おかげさまで、年間57万人のお客様を迎えるまでになっております。また、地元米沢の方々にも広く親しみを持っていたり、年々23回目を迎え、今では市民のお祭りとして、認知されるまでにいたって

おります。また、わたくしども上杉城史苑は、上杉神社を中心とした上杉文化エリアの一角に位置し、このエリアのメンバーでもあります。観光のための情報発信はもとより、上杉・米沢の昔から伝えられている伝統、忘れられようとしている工芸品やおまんじゅうなどのお菓子にも強い思いがあります。このような食文化も含めた情報の発信と継承も重要な役割と捉え、与えられた使命と役割を果たすべく精進してまいります。



結びとなりますが、米沢有為会のメンバーが、上杉城史苑ができるきっかけを作られたように、これからの米沢をますます発展させるきっかけとなる人材が数多く輩出されることを心からご祈念申し上げます。

編集後記

★米沢支部総会は今年度から本部定時総会と同日に開催され、定時総会後表彰式が行われました。受賞者の皆様、誠にありがとうございました。記念写真はまさに威風堂々の感じがいたします。

★昨年11月4日の東北中央自動車道開通に引き続き、今年4月20日には道の駅「米沢」がオープンし大変賑わっています。来場者数は7月7日50万人を突破し、目標の2倍のペースで増えているそうで、本号発行日には一体何人になっているのやら、予想がつかえません。(手)